経済学部・学府のオンライン授業に関する
学生アンケート調査　集計結果

経済学研究院オンライン化特設チーム

実施期間：6 月 19 日（金）午後～6 月 29 日（月）正午
実施方法：学生ポータルサイト（全学基本メール転送を含む）による通知。なお、アンケートはグーグルフォームを利用。
回答数：578 通（回答率：45.1%＜学生ポータルサイト全登録学生数 1,281 に対する割合＞）

アンケート結果の概要

（１）回答属性とオンライン受講環境

回答属性については、学部生（1 年生）の回答率が高かった（設問 1）。オンライン授業に必要な通信環境については、オンライン授業が通知される前では 84.1%、オンライン授業開始前までには 98.3%の学生が整えていた（設問 2）。Moodle へのアクセスについては 94.0%がほぼ良好であり（設問 3）、また全学基本メールについても 91.3%が確認できている状況にある（設問 4）。ただし、後者の結果については、アンケート調査の情報が全学基本メールを通して提供された点を、考慮しておく必要がある。

（２）オンデマンド授業および Zoom によるリアルタイム授業の評価

オンライン授業のうち、オンデマンド授業について理解度では 85.0%、満足度では 73.2%、学生対応では 74.1%で、それぞれ好意的な評価を得ている（設問 5~7）。ただし、満足度や学生対応については、学部生（1 年生）の「どちらでもない」や「普通」の割合が、その他の回答属性よりも少し高くなっている。

Zoom によるリアルタイムについて理解度では 89.8%、満足度では 76.4%、学生対応では 73.5%で、それぞれ好意的な評価を得ている（設問 8~10）。ただし、オンデマンド授業と同じく、満足度や学生対応について、学部生（1 年生）の「どちらでもない」や「普通」の割合が、その他の回答属性よりも少し高くなっている。

また、Zoom によるリアルタイム授業が対面授業をどこまで代替できるのか、授業規模別に調べた（設問 11）。その結果、すべての授業と回答した割合が 41.5%であり、これに 100 人~150 人以上までを回答した割合を加えると、59.8%までに至る。ただし、経済学府生はより小さい規模での回答割合が高くなっている。さらに、「未回答」が一定割合（4.7%）出ている理由としては、「演習等の少人数授業だけは対面がよい」という選択肢がなかったという、アンケート設計に由来するところもある。

（３）オンライン授業に関する改善要望等

オンライン授業に対する改善要望等に関する自由記述（設問 12）の概要は以下の通りである。

まず全体的な事柄として、オンライン授業の継続と対面授業の再開だけでなく、双方向性によって生み出される雰囲気等を理由として、少人数授業を中心に対面授業の再開を望む意見も出されている（全体①～③）。オンライン授業のなかでも、リアルタイム授業中での音声トラブルを理由として、オンデマンド授業を要望しているものもある（全体④）。また、オンライン授業で不足しているものとして、友人や先輩とのコミュニケーション機会が挙げられている（全体⑤・同⑥）。さらに、オンライン授業の受講に伴う健康障害（全体⑦）や、使用している PC のトラブル時における代替機器の貸出（全体⑧）も出されている。

次に、授業運営については、オンライン授業であることを配慮しない授業量の多さ（授業運営①）や課題量の多さ（授業運営②）が、それぞれ複数出されている。成績評価への不安も出されている（授業運営②）。また、課題量の多さに関連したものとして、課題提出期限に余裕を持たせることが要望されている（授業運営③）。さらに、オンライン授業特有の通信環境のアクシデントに由来する、課題提出や成績評価への不安が挙げられている（授業運営④・同⑤）。Zoom でのリアルタイム授業のうち、とくに大人数授業における「顔出し」についても意見が出されている（授業運営⑤）。

授業運営と密接に関連する学生対応については、Moodle 以外のメール等で課題提出をさせている場合の受取確認（学生対応①）の要望が、複数出されている。授業資料や課題を変更した場合は、連絡することを求める要望もある（学生対応②）。また、課題の回答や解説のフィードバックがないことへの不満（学生対応③・同④）が出されている。さらに、課題の提出期間や提出時に遭遇した通信障害への対応についての不満（学生対応⑤・同⑥）も出されている。

授業情報の提供方法については、1 つのファイル等あたりの提供時間が長いこと（情報提供方法①）や、提供期限を限定しないでほしいこと（情報提供方法②）が要望として出されている。また、音声ファイルや、文字情報に音声ファイルを張りつけたかたちで提供される授業資料は、操作性があまり良くないことが複数寄せられている（情報提供方法③・同④）。操作の容易さでは録画情報が好まれており（情報提供方法④）、そのうえで容易に視聴速度の調整ができる Youtube での提供に対して評価が高い（情報提供方法⑤）。最後に、板書を行うためのホワイトボードの代わりとなるものへの要望も出されている（情報提供方法⑥）。

Moodle については、もっぱら自動出欠機能に関するトラブルが出されている（Moodle①）。Zoom については、ミーティング ID などのアクセス情報を Moodle に掲載してほしいこと

（Zoom①）、チャット機能を活かしてほしいこと（Zoom②）、さらに経済学部・学府の授業ではない可能性が高いが、無料会員の状態で利用していることによる授業運営への支障（Zoom③）が、それぞれ出されている。

最後に、通信環境については、学生個人で対策を講じているが状況が改善できていないものや（通信環境①）、インターネットの通信障害時への対応として Zoom によるリアルタイム授業でも録音を求めているもの（通信環境②）があった。また、学生側の通信障害に起因するトラブル（通信環境③）だけでなく、教員側のそれについても指摘しているものがあった（通信環境④）。

（４）今後の授業にも活かしてほしいオンライン授業の優位性等

今後の授業にも活かしてほしいオンライン授業の優位性等に関する自由記述（設問 13）の概要は、以下の通りである。

まず全体的な事柄として、優位性等を評価しながらも対面授業の再開を希望する者が、一定数存在している（全体①・同②）。また、改善要望等の自由記述と同様に、この設問でも少人数授業を中心とした大人数以外の授業については対面授業の再開を望む意見が、理由を異にしながらも複数出されている（全体③・同④）。大人数授業については、Zoom によるリアルタイム授業では通信環境の差が大きく影響するという意見も出されている（全体⑤）。オンライン授業への高い評価を踏まえて、テストのみ対面で良いとする意見（全体⑥）や、悪天候時はオンライン授業に切り替えるという意見（全体⑦）もある。精神疾患等で来学できない場合（全体⑧）、留学している場合（全体⑨）、および履修登録はしないが興味があって受講したい場合（全体⑩）といった、学生個々の状況に応じた受講ができる点も評価されている。

次に、学生生活についてあるが、圧倒的に多かった意見としては通学時間がなくなったことによる、時間的（および金銭的）なメリットが挙げられる（学生生活①・同②）。また、このような時間的なメリットを踏まえて、とくに社会人に対するオンライン授業のアピールを提案する意見（学生生活③）や、オンライン授業によって異なるキャンパスでの開講科目を横断的に履修できる可能性があることを示唆する意見（学生生活④）も出されている。

授業運営については、とくに大人数授業の授業環境が改善したことが出されている（授業運営①・同②）。また、オンライン授業によって教室の物理的な制約がなくなったことで、これまでよりも受講可能な人数が増えたこと（授業運営③）も出されている。さらに、オンデマンド授業でも質問対応を別途設けていることが、学生から高い評価を得ている（授業運営④）。

授業理解については、圧倒的に多く出された意見として、とくにオンデマンド授業については繰り返し視聴できることから復習がしやすくなり、授業理解が高まっていることが挙げられる（授業理解①）。また、授業情報の提供方法にも関連するが、授業資料が Moodle 等に一括して掲載されるようになったことで、それらをデータとして確実に入手できるようになり、復習がしやすくなったことも出されている（授業理解②）。

授業情報の提供方法については、PC 上でのファイル提供により資料管理がしやすくなったことや（情報提供方法①・同②）が出されている。パワーポイントでの提供機会が増えたことを影響してか、パワーポイントの質が全体的に向上しているとの意見もある（情報提供方法③）。また、改善意見等の箇所で録画情報や Youtube について言及したが、これらまで至らなくとも、パワーポイントファイルの文字情報や、文字情報と分けたかたちでの音声ファイル情報の提供によって、対面授業再開後においても、就活生への配慮や授業理解が促されることが期待される意見も出されている（情報提供方法④・同⑤）。

Moodle については、その利便性を評価する意見が出されている（Moodle①）一方で、ここでも自動出欠機能に関する問題が指摘されており、このことを踏まえた改善案が示されている（Moodle②）。Zoom についてはチャット機能の利便性（Zoom①）や、画面共有機能を活用した学習（Zoom①・同②）、およびブレークアウトセッションの便利さ（Zoom③）が出されている。

以上

設問 1. あなたの所属をお知らせください。

学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	その他	合計
195（33.7%）	302（52.2%）	81（14.0%）	0（0%）	578

設問 2. オンライン授業に必要な通信環境（目安：月 50GB 以上で速度制限なし）について、準備状況はどうでしたか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．オンライン授業が通知される前から通信環境は整っていた
２．オンライン授業の開始にあわせて通信環境を整えた
３．現在もまだ必要な通信環境が整っていない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	160（82.1%）	263（87.1%）	63（77.8%）	486（84.1%）
2	32（16.4%）	35（11.6%）	15（18.5%）	82（14.2%）
3	3（1.5%）	4（1.3%）	3（3.7%）	10（1.7%）
無回答	0（0%）	0（0%）	0（0%）	0 (0%)
合計	195	302	81	578

設問 3. Moodle へのアクセスは、どの程度円滑ですか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．全く支障なくアクセスできている
２．ごくたまにアクセスできないときがある
３．時間帯によってはアクセスできないことがある
４．時間帯に限らずアクセスできないことが多い
５．Moodle に（ほとんど、あるいはまったく）アクセスしていないので分からない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	71（36.4%）	179（59.3%）	59（72.8%）	309（53.5%）
2	111（56.9%）	109（36.1%）	14（17.3%）	234（40.5%）
3	11（5.6%）	14（4.6%）	5（6.2%）	30（5.2%）
4	2（1.0%）	0（0%）	1（1.2%）	3（0.5%）
5	0（0%）	0（0%）	2（2.5%）	2（0.3%）
無回答	0（0%）	0（0%）	0（0%）	0 (0%)

合計	195	302	81	578

設問 4. 全学基本メールの確認は、どの程度行っていますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．定期的に確認している
２．教員等から情報が提供されたら確認している
３．ほとんど確認していない
４．全学基本メールを知らない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	143（73.3%）	203（67.2%）	54（66.7%）	400（69.2%）
2	43（22.1%）	69（22.8%）	16（19.8%）	128（22.1%）
3	9（4.6%）	30（9.9%）	10（12.3%）	49（8.5%）
4	0（0%）	0（0%）	1（1.2%）	1（0.2%）
無回答	0（0%）	0（0%）	0（0%）	0（0%）
合計	195	302	81	578

設問 5. 経済学部・学府のオンライン授業のうち、オンデマンド授業（Moodle 等を通して、録画情報や音声入力等が施された授業資料を提供している授業）全般について、どの程度理解できていますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．全体的にしっかり理解できている
２．全体的にまあまあ理解できている
３．全体的にあまり理解できていない
４．全体的にほとんど理解できていない
５．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講していないので分からない【この項目を選択した人は問８へ】

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	56（28.7%）	71（23.5%）	34（42.0%）	161（27.9%）
2	115（59.0%）	176（58.3%）	39（48.1%）	330（57.1%）
3	18（9.2%）	48（15.9%）	2（2.5%）	68（11.8%）
4	0（0%）	2（0.7%）	0（0%）	2（0.3%）
5	6（3.1%）	5（1.7%）	6（7.4%）	17（2.9%）

無回答	0（0%）	0（0%）	0（0%）	0 (0%)
合計	195	302	81	578

設問 6. オンデマンド授業全般について、どの程度満足ですか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．とても満足している
２．まあまあ満足している
３．（満足と不満足の）どちらでもない
４．あまり満足していない
５．まったく満足していない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	42（21.5%）	76（25.2%）	23（28.4%）	141（24.4%）
2	89（45.6%）	155（51.3%）	38（46.9%）	282（48.8%）
3	44（22.6%）	35（11.6%）	14（17.3%）	93（16.1%）
4	12（6.2%）	27（8.9%）	2（2.5%）	41（7.1%）
5	3（1.5%）	4（1.3%）	0（0%）	7（1.2%）
無回答	5（2.6%）	5（1.7%）	4（4.9%）	14 (2.4%)
合計	195	302	81	578

設問 7. オンデマンド授業全般について、教員による授業の準備や、学生からの質問や相談等への対応は、どのように評価していますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．とてもよい
２．まあまあよい
３．普通
４．あまりよくない
５．まったくよくない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	59（30.3%）	81（26.8%）	27（33.3%）	167（28.9%）
2	77（39.5%）	148（49.0%）	36（44.4%）	261（45.2%）
3	45（23.1%）	57（18.9%）	9（11.1%）	111（19.2%）
4	8（4.1%）	7（2.3%）	3（3.7%）	18（3.1%）

5	0（0%）	1（0.3%）	1（1.2%）	2（0.3%）
無回答	6（3.1%）	8（2.6%）	5（6.2%）	19（3.3%）
合計	195	302	81	578

設問 8. 経済学部・学府のオンライン授業のうち、Zoom によるリアルタイム授業（時間割と同じ曜日・時限に行われている授業）全般について、どの程度理解できていますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．全体的にしっかり理解できている
２．全体的にまあまあ理解できている
３．全体的にあまり理解できていない
４．全体的にほとんど理解できていない
５．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講していないので分からない【この項目を選択した人は問１２へ】

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	53（27.2%）	92（30.5%）	39（48.1%）	184（31.8%）
2	121（62.1%）	176（58.3%）	38（46.9%）	335（58.0%）
3	13（6.7%）	19（6.3%）	3（3.7%）	35（6.1%）
4	2（1.0%）	7（2.3%）	0（0%）	9（1.6%）
5	6（3.1%）	8（2.6%）	1（1.2%）	15（2.6%）
無回答	0（0%）	0（0%）	0（0%）	0（0%）
合計	195	302	81	578

設問 9. Zoom によるリアルタイム授業全般について、どの程度満足していますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．とても満足している
２．まあまあ満足している
３．（満足と不満足の）どちらでもない
４．あまり満足していない
５．まったく満足していない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	38（19.5%）	80（26.5%）	33（40.7%）	151（26.1%）
2	92（47.2%）	162（53.6%）	37（45.7%）	291（50.3%）

3	42（21.5%）	35（11.6%）	7（8.6%）	84（14.5%）
4	12（6.2%）	15（5.0%）	2（2.5%）	29（5.0%）
5	4（2.1%）	1（0.3%）	1（1.2%）	6（1.0%）
無回答	7（3.6%）	9（3.0%）	1（1.2%）	17 (2.9%)
合計	195	302	81	578

設問 10. Zoom によるリアルタイム授業全般について、教員による授業の準備や学生からの質問や相談等への対応は、どのように評価していますか？　あてはまるうちで＜もっとも大きな数字＞の項目を選択してください。

１．とてもよい
２．まあまあよい
３．普通
４．あまりよくない
５．まったくよくない

	学部生(1 年生)	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	56（28.7%）	105（34.8%）	31（38.3%）	192（33.2%）
2	74（37.9%）	124（41.1%）	35（43.2%）	233（40.3%）
3	54（27.7%）	56（18.5%）	13（16.0%）	123（21.3%）
4	4（2.1%）	6（2.0%）	0（0%）	10（1.7%）
5	0（0%）	1（0.3%）	1（1.2%）	2（0.3%）
無回答	7（3.6%）	10（3.3%）	1（1.2%）	18 (3.1%)
合計	195	302	81	578

設問 11. 【経済学部 2 年生以上および経済学府生のみ回答】Zoom によるリアルタイム授業を受講してみて、どの程度の授業規模までであれば、対面授業とほとんど変わらない(あるいは対面授業以上の)理解度や満足度が得られると思いますか? あてはまるうちで<もっとも大きな数字>の項目を選択してください。

１．大規模クラス授業(200~300 人程度)を含むすべて
２．中規模クラス授業(100~150 人程度)まで
３．小規模クラス授業(50 人程度)まで
４．演習等の少人数授業(20 人程度以下)のみ
５．該当なし(授業規模に関係なく、対面授業のほうが理解度や満足度が高い)

	学部生(2 年生以上)	学府生	合計
1	149（49.3%）	10（12.3%）	159（41.5%）
2	62（20.5%）	8（9.9%）	70（18.3%）
3	22（7.3%）	22（27.2%）	44（11.5%）
4	23（7.6%）	26（32.1%）	49（12.8%）
5	34（11.3%）	9（11.1%）	43（11.2%）
無回答	12（4.0%）	6（7.4%）	18 (4.7%)
合計	302	81	383

設問 12. オンライン授業全般について不安を感じていることや困っていること、改善してほしいことについてあれば、自由に述べてください。オンライン授業全般(Moodle や Zoom 等のオンライン手法を含む)だけでなく、個別の授業に関するものでも結構です。(自由記述)

項目区分	主な回答内容（読みやすくするために、一部加筆修正を施した）
全体①	プレゼンを含む授業や言語の授業、少人数で行うゼミのような授業は、対面の方がしっかり雰囲気が伝わるため、やりやすいと感じる。
全体②	ゼミや外国書講読など双方向のやりとりが重要な授業は、オンラインで行うと双方向性がとりにくく、一方的な授業となりがちで、普通の講義のようになってしまっています。
全体③	先生及び同期生と直接会ったことがないため、オンライン上のみでは相手方の情報が少ないと思います。
全体④	リアルタイム授業の場合、声が途切れ途切れになることが多いというかほとんどそうなるので、すべてオンデマンド授業がよい。
全体⑤	授業がゼミしかないため、他の講義についてはわかりませんが、オンライン上ではゼミ生同士でも会話が生まれないため、他人とのコミュニュケーションの場が失われているのが少し悲しいです。
全体⑥	初めての大学生活であり、先輩とのコミュニケーションもないため、自分の成績がどのように評価されているのか良く分からない点において不安を感じている。
全体⑦	オンライン授業ではパソコンの画面を長時間見続けなければいけないので、視力が低下したり、頭痛がしたり、耳鳴りがしたりするなど不調をきたすことがよくある。
全体⑧	パソコンが壊れたら受講できないため、大学からパソコンの貸し出しができたらもっといいと思います。

授業運営①	一回の講義資料の量が膨大すぎて、理解するのに時間が必要以上にかかる。対面の時のように学生の理解度を考えて資料を作成してほしい。
授業運営②	オンラインなので仕方のないことだとは思うのですが、各授業から課題が出されることで課題の量が膨大になり、学生の負担になっているのではないかと思います。評価という点で言えば、このような状況なので正当に評価されるのだろうか、授業を受けていない人がいい成績を取り、真面目に受けた人がいい成績を取れないということにならないかなどの不安があります。
授業運営③	すべての講義において課題を増やされると相当な量となるので、できれば課題の提出期限を、最低 1 週間設ける等の処置をお願いしたい。
授業運営④	時間制限のある小テストを受けている途中で画面が固まり、タイムオーバーになってしまったことがあります。しっかり復習して臨んだ分、本当に悔しかったので、時間制限や受験回数制限は無くして頂けると助かります。
授業運営⑤	大人数の講義でディスカッションを行い、それで成績をつけようとする授業があるので、通信環境などに左右される基準で成績をつけるのはよろしくないと思う。また、対面とは違い、全員の顔を正面で見たり部屋の様子を見たりできるため、顔出しを共有するのもできれば控えていただきたい。
学生対応①	ある授業ではレポートをメールで提出するようになっており、返信もないため、受理されたかが分からず不安になる。
学生対応②	事前の通知がなく、授業資料や課題の更新が行われることがあるため、その都度メールで通知してほしい。
学生対応③	授業によっては、課題に対するフィードバックがないので困っている。ある授業では正答の計算式が分からないままであり、今後の Excel 操作に活かせない。
学生対応④	練習問題の解答が誤っていたり、解答だけ書いて解説を載せてくれないことがありました。また、Moodle 上の小テストの採点だけして解説をしてくれない先生もいるので、復習しようにも復習できず、わからないままになってしまいます。
学生対応⑤	特に授業が終われば、そのあとメールをチェックすることなどないので、その日中に課題があることを連絡して、その日のうちに提出期限があるのは理不尽すぎると思う。メールをチェックした時点で、課題の提出期限が終わっていた。
学生対応⑥	小テストが親の仕事のミーティングと被ってしまい、通信の遅れで受けれなくなったことを救済してもらえなかった。不公平だと思う。

情報提供方法①	オンデマンド授業について、1 スライドあたりの音声が長い時(20 分以上)に、だんだんと集中力が切れることがある。オンデマンドは視覚的情報も少ないので、集中するのが難しいときがある。
情報提供方法②	連続ドラマで 1 話見逃すとそれ以降も見る気がなくなるように、オンデマンド授業で期限が切れて見れなくなるような講義はやる気を失うので、期限をつけるのをやめてほしい。
情報提供方法③	音声ファイルを聞くよりも、動画の方が親しみやすく、分かりやすいのではないかと思う。音声ファイルだと、どうしても音声が授業資料のどこに該当するのか分かりにくい。黒板と教員を映す、または説明をしながら授業資料にメモをする動画だと助かる。
情報提供方法④	パワーポイントに音声を貼り付けたのみの授業もあり、倍速や音声操作ができず、音声のみのため集中力が切れてしまいます。ビデオつきの動画の形で配信して下さると良いと思います。
情報提供方法⑤	オンデマンド授業は先生によって配信の使用が異なっているが、YouTube などと同様に倍速にしたり、自分の好きな場所から再生できたりする仕様の講義はすごくやりやすく感じたため、できればその方法で他の授業も統一してほしいと感じた。
情報提供方法⑥	説明を加える際に、ホワイトボードの代替になるものが必要と感じた。
Moodle①	一部の授業では、Moodle 上の欠席判定ブロックが表示されていません。その場合、当該機能を利用されているが学生側に表示していないのか、当該機能は利用せずその他の要素 (授業後のアンケートやオンデマンド型の講義での参加者一覧など)で出席を確認されているのか、そもそも出席判定を行われていないのかを明記していただきたいです。また、もし欠席判定ブロックを利用しているが非表示にされているという場合は、なぜそうされているのか理由もお聞きしたいです。
Zoom①	ムードルのうち、講義の資料と同じ場所に Zoom の URL を貼っている先生がほとんどだが、一部の先生はメールで URL を送られるので、ムードルに統一してほしい。
Zoom②	チャットで質問しても見ていない先生がごくたまにいらっしゃって、質問に答えてもらえないことがあったので、定期的にチャットを見ながら講義を行ってもらえるとありがたいです。
Zoom③	Zoom の使い方が分かっている先生と、分かっていない先生との間で、バラツキが大きくある。また、私が受けているある講義は、先生が Zoom の有料会員になっていないために、40 分おきに Zoom に出入りして全く集中出来なかった。

通信環境①	家のネット環境のせいか通信状況が悪く、見る・聞くだけの授業は受けれているが、画面共有やブレークアウトセッションなど動きがあると画面が固まり、通信が途切れることがあり困っている。パソコンやルーターを新しく買い替え、PC メーカーや通信会社にも相談したが、原因不明のままである。
通信環境②	マンションの共有の Wi-Fi を使っているため、かなりの頻度でインターネットが不安定になります。Zoom で授業を受けていると音声が聞こえなくなったりするので、録音をアップしていただきたいです。（いくつかの授業ではすでに実施されているので、とてもありがたいです。）
通信環境③	授業で先生の話は聞きやすいけど、他の学生の話は喋るスピードや通信状況によって、時には取れない場合もあります。
通信環境④	ある教員の場合に発生することが多いので、自宅の回線具合が脆弱であると思われるが、音が割れたり遅延したりして聞こえない場合がある。

設問 13. 対面授業と比べてオンライン授業が優れていることや、対面授業が再開されても継続してもらいたいことについてあれば、自由に述べてください。オンライン授業全般だけでなく、個別の授業に関する内容や手法等をもとに述べていただいても結構です。（自由記述）

項目区分	主な回答内容（読みやすくするために、一部加筆修正を施した）
全体①	オンライン授業は、確かに移動の時間がかからないなど良い点はありますが、やはり教室に行ってその場で講義を受け、友達と議論する普段の授業の形のほうが、適度な緊張感を持って集中して講義を受けられると思うし、学生一人一人の積極性も大きいと思います。私としては、一刻も早く対面授業に戻る日が来ることを願っています。
全体②	対面授業の再開を望みます。ただ、オンラインも週１回は実施いただけたら有意義だと思います。
全体③	１限目が受けやすくなった。対面授業が再開されても、大講義に限っては、希望者によってオンラインと対面で分けても良いと感じる。しかし、大講義以外は対面のみにしていただきたい。
全体④	大規模な人数で行う授業に関しては、オンデマンド授業や Zoom などによるオンライン授業のほうが受けやすいと感じている。一方で、少人数でのゼミは対面での授業のほうがコミュニケーションを取りやすいのではないかと感じた。

全体⑤	プレセミナーは教授と学生との間、また学生と学生との間で意見交換があったため、Zoom が適していると思ったが、教授が一方的に講義するものについては、リアルタイム授業にする必要性を感じなかった。リアルタイムにすると、Wi-Fi 環境の差で授業の質に差が生じてしまうことも考慮した方が良いと思う。
全体⑥	言語科目以外は基本的に先生の話を聞くものが多いため、そのような授業はこれからもオンライン授業の方が出席率も上がるし、キャンパス内での移動の手間も省けて効率的だと思う。テスト時のみ来学するのも、講義によっては良いのではないかと感じた。
全体⑦	今回は新型コロナウイルスの感染を可能な限り避けるための措置であったが、今後は台風などで休講になっていた講義をオンライン授業という形で代替できるのではないかと思う。また対面授業になっても、その様子を録画しアップロードすることで、今まで病気等で休学をせざるをえなかった学生も、病院・自宅などで講義を受けることができる。
全体⑧	病気や体調不良（特に梅雨の低気圧による頭痛など）があっても、対面では決められた時間に必ずいかなければならないが、オンデマンド型だと調子のよい時を選んで万全の状態で受講できるため、とてもありがたい。私は昨年うつ状態の日が多く、対面授業の欠格条件を守れないことによって単位を落としてしまうこともあった。学習意欲はあるのに、時間通りに教室にいけないだけで、その日の授業内容が把握できないというのは、すごく歯痒かった。
全体⑨	対面授業が再開された後も、対面だけでなくオンラインでも受講することが可能であれば、授業を受ける場所を問わないので、海外に留学しながらも大学の単位を通常通り取得することができるため、ぜひともオンライン授業は継続してほしい。
全体⑩	オンデマンド授業を継続してほしい。理由は効率的な学習ができること、そして履修登録をしない聴講程度のマインドの講義と他に取りたい講義が重なっても対応できるから。
学生生活①	実家住みで通学に片道 1 時間半かかっており、今まではその時間を有意義に活用できていませんでしたが、オンライン授業だと通学時間が省かれて、その分他の事に時間を活用できていると思います。知識伝達型の授業については、コロナが収まっても続けていいと思います。
学生生活②	都合上、授業時間に出席は可能だが、キャンパスへの移動などを含めると受講しに行くのが困難だという場合に、許可を取ればオンラインで授業に参加できるようになると授業に出席しやすくなり、かつ講演会やその他関心のある活動などへも参加しやすくなり、大学の授業での

	学びとそれ以外での学びのバランスが取りやすくなるのではないかと思う。
学生生活③	オンライン授業は QBS 等社会人でもキャンパスの移動時間を考慮せずに、勤務中の職場の一室や自宅で授業を受けることが可能になるので、全国からの学生の応募が可能となったり、実家もアクセスが可能になるので、コロナが収束しても継続するべき有用なツールである。また、職場で授業時間だけの時間休を取得して、伊都キャンパス開講の単位を社会人が取得することも可能である。
学生生活④	九大全体の時間割を統一すれば、伊都キャンパス分を受講して、すぐに博多キャンパスでの受講が可能となる。現在は 18:30-20:00 開講の科目で、CSTIPS と QBS の時間がわずか 10 分重複しているため、両方の科目を横断受講することができず 1 年後の受講となってしまうので、時間調整等の改善をお願いしたい。
授業運営①	以前の対面と比べて大規模の方がより快適に受講でき、他方で少人数だと少しやりづらく感じています。授業規模が大きいほど、教室の空調や私語等の阻害理由が減り、快適に受講でき、逆に、演習など少人数授業になるほど、発言するタイミングなど対面ではなかった気を遣う必要性が出てきたと感じます。
授業運営②	オンライン授業だと、席の場所に関係なく平等なので、通信環境に問題がなければ、資料を見たり教授の話を聞いたりするのはやりやすい。
授業運営③	講義の内容によっては対面で行うよりも多くの受講生を受け付けることができるので、そういった講義はオンラインで行うのもよいと思う。
授業運営④	オンデマンド式の授業でも、自分が受講している授業のなかでは質問対応の時間が設定されているので、何も問題はないと思います。
授業理解①	オンデマンド型の授業に関してはわからないところは何度も繰り返すことができ、わかるところは省略できるのでより効率的な勉強ができ、その分浮いた時間は自学にまわせるため、非常に充実した時間を過ごせています。
授業理解②	保存さえしていれば、データとして資料が確実に手元に残るので、復習がしやすい。受講中に、もう忘れてしまった用語や概念が出てきても、一時停止をして、過去の資料で確認をしてから受講をできるので、わからないまま授業に置いて行かれることがかなり減った。
情報提供方法①	資料の見直しや解説の聞き直しがしやすいことが優れていると思う。またファイル形式の資料はパソコン上にあり、荷物としての負担にならないため、今後も行ってほしい。
情報提供方法②	オンライン上に資料がすべてそろっているので、復習がしやすいです。

情報提供方法③	パワーポイントの質が全体的に上がっていると思いました。
情報提供方法④	就活生にとってはオンライン授業のほうが圧倒的にありがたい。対面授業再開後も講義を録画し、申請をした就活生などに提供してほしい。録画が厳しければ、PPT ファイルの提供などをしてもらえると非常に嬉しい。
情報提供方法⑤	特に数学を用いる授業において、現在のオンデマンド形式のような音声ファイルがあると、授業中に一度で理解できなかった部分を効率的に復習できると感じたので、対面授業が再開したとしても、何らかの形（例：講義の録音など）で音声ファイルがあると便利だと感じました。
Moodle①	Moodle は慣れてしまえばとても便利なので、今後も積極的に活用していただきたい。
Moodle②	自動出欠機能に問題が生じる場合が多いです。自動出欠機能よりも出席コメント課題（時間制限あるもので）を設定しておき、授業を始める前に学生にしてもらうような方法がいいと思います。
Zoom①	授業中にチャットで受講生が同時に書き込みできることが、とても効率的です。また、画面共有機能を利用するので、スライドが教室より見やすい。
Zoom②	プログラミングの練習をする授業については、Zoom の画面共有機能が便利。席を移動せずに、複数人でエラー画面の確認ができるから。
Zoom③	対面授業では同じ席に座る可能性が高く、グループ分けをしてもほぼ同じメンバーになりがちだが、Zoom ではランダムにグループ分けでき、タイマー設定によってグループ討議の時間管理がしやすいと思う。